



1月15日

手作りの凧揚げ楽しむ 庶路学園凧揚げ

日本の伝統文化でもある凧揚げの楽しさを知ってもらおうと、庶路学園の1、2年生による凧揚げ大会が、同校グラウンドで行われました。

庶路・西庶路たこあげ同好会の協力で、メンバーが凧作りから揚げ方までを指導しました。この日、1年生15人と2年生14人が元気いっぱいグラウンドを駆け回り、凧揚げを楽しんでいました。



「弦はピアノ1台に約230本あり、全て調整する」と佐藤さん(左)

1月15日

ピアノの構造や調律を学ぶ ピアノの秘密&調律講座

ピアノの秘密&調律講座が社会福祉センターで開かれ、参加した9人がピアノの構造や調律を学びました。

講師はエルム楽器釧路支店長でピアノ調律師の佐藤圭介さん。佐藤さんは歴史や構造、調律の難しさなどについて説明しました。また、調律が狂っているピアノと正しい調律のピアノの音を演奏し、参加者は調律の重要性を学びました。

1月7日

防災意識を新たに 白糠消防団・白糠支署新年出初式

白糠消防団と釧路市西消防署白糠支署による「新年出初式」が白糠消防庁舎で行われ、団員や消防職員115人が防災意識を新たにしました。

この日は来賓が見守る中、団員による分列行進から始まり、服装点検や機械器具点検が行われました。続いて屋内行事では、長年にわたり消防活動に尽力した消防団員に対して表彰状が授与されました。



団旗を掲げ行進する団員たち



バスツアーに参加した気分で映像を楽しむ来場者

1月21日

動画で町の歴史や文化に触れる ライブアートツアーin白糠上映会

札幌の俳優が白糠に縁のある原半左衛門などの歴史上の人物に扮し、町の魅力を発信するバスツアー動画「ライブアートツアーin白糠」の上映会が社会福祉センターで開かれました。会場には約100人が来場。

動画では炭鉱や軍馬、旧白糠線等を紹介。来場者は映像を楽しみながら町の歴史や文化に触れました。上映後は脚本家などによるトークショーも行われました。

1月21日

50周年 会のますますの発展を願って 白洋老友会新年会

白洋老友会（神成比呂志会長・会員18人）は、振興センターで新年会を開き、会員や来賓16人が同会の発展を願い交流を深めました。

同会は、町内の各公園や墓地の草刈りのほか、しめ縄飾りや正月飾りの回収、どんど焼きなどを行い、今年で50周年。神成会長は「会員が健康で会がますます発展することを願います」とあいさつを述べました。



会の発展を願いあいさつを述べる神成会長(中央)



指導する中川さん(中央)と的の中央を狙いを定める横山君

1月15日

的の中央を狙って 久遠塾ダーツ体験会

久遠塾主催のダーツ体験会が白糠高校で行われ、参加した小中学生8人がダーツを楽しみました。

講師はダーツ経験者で同塾スタッフの中川雄貴さんと白糠高校教諭の宇田拓人さん。参加した子どもたちは得点を加算していく「カウントアップ」などで競い合いました。横山翔大君(白糠2年)は「難しいけどおもしろい。またやりたいです」と話していました。

1月12日

ふらっと立ち寄って 第4回ふらっとコンサート

情操教育指導者の齊藤弥音さんと山田陽子さんによる「ふらっとコンサート」が公民館で開かれました。

第4回目の今回は、ミュージカル特集をテーマにリトルマーメイドの歌「パート・オブ・ユア・ワールド」など計4曲を披露し、会場は盛り上がりました。会場を訪れた佐藤裕子さんは「ピアノと歌声がマッチしていて良かった。また来たいです」と話していました。



息の合ったコンサートを披露した山田さん(左)と齊藤さん(右)